

学外研修報告 「切削アカデミー基礎コース」 三菱マテリアル

実験教育支援センター 渡邉和憲







切削アカデミーとは



工具メーカーの三菱マテリアルが 開催している加工関係者向けの セミナー コースの種類は以下の通り

- ・初心者コース
- ・基礎コース →昨年度受講(本発表)
- ・応用ターニングコース
- ・応用ミーリング・ドリリングコース
- ・ターニングトラブルシューティング
- ・難削材加工コース →今年度受講
- •etc.
- ※応用コースは基礎コース受講後しか選択できない





セミナーの様子

受講の理由



- •学生対応の向上
- 授業への理解を深める
- •初心者コースを受けるほど初心者ではない
- ・かといって詳しく聞かれたら自信をもって答えられない



切削アカデミー基礎コースを受けるしかない!

三菱マテリアルについて



- ・超硬工具メーカーとしては国内シェアNo.1
- ・マニュファクチュアリングセンターでも多くの工具を使用
- ・加工技術センターは東日本テクニカルセンター(さいたま新都心) と中部テクニカルセンター(岐阜県大垣)の2拠点



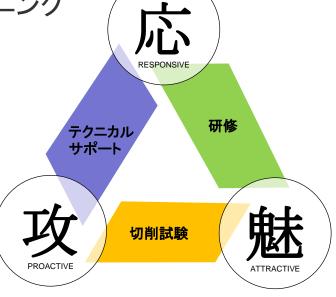
加工技術センター



- ・テクニカルサポートライン診断・工程改善・ツーリング提案・加工解析
- ・切削試験 テストカット(切削抵抗・振動解析等)
- •研修

ユーザ研修(切削アカデミー)・eラーニング 地区講習会





基礎コース



- 2日間講習(受講料10,000円) 2017年8月24,25日
- 座学と加工機を用いた実演を交互に行う

<1日目>

- ・切削工具と切削加工
- ・被削材と工具材料の関係
- ・切削条件の基礎
- ・ターニング
- ・インサートについて
- ・切り屑処理について

<2日目>

- ・フェースミーリング
- •エンドミーリング
- ・ミーリング工具・アーバ・ホルダにつ いて
- ・ドリリング
- ・ドリルの種類について
- •切削条件の計算演習
- 製品カタログの見方

内容について(座学講習)



配布プリントと三菱マテリアル特製ツーリングテクノロジーを 見ながら講師の話を聞く

〈タメになったこと〉

- 被削材の種類と特製について 同じアルミニウムでもシリコンの含有量により被削性 低下するなど、合金の特性の違い
- 工具材料について ハイスと超硬合金の違いはもちろん、超硬合金への コーティングによる被削材への特性の変化
- などなど

内容について(実演講習)



座学講習で行った内容を、実際に加工して確かめる

<タメになったこと>

- 切りくずの処理について
 - 切りくずが繋がって伸びてしまうよりも、短く分断されるほうが良いとは知らなかった
 - またそれが加工条件により変わっていくため、加工条件 の適切な設定が重要
- 加工後の観察 加工後の工具や被削材を観察することで構成刃先や コーティングの性能など比較できた
- などなど

感想



- 座学と実演を交えた講習であったため、より理解が深まるように工夫 されていてよかった
- あまり目にしない工具に触れることができ、今後やってみたい加工が 増えた
- SD切削プロセスでは今回の実演と同じような加工をしているため、授業での説明がよりしやすくなった
- 最後に修了証書と三菱マテリアル キャップを贈呈された



自分で勉強したい人は・・・



PERMANENT COURSES

eラーニング(エキスパートプログラム)

http://mmc-permanent.learnways.com/

▲ = 菱マテリアル

Web版のラーニング教材が 三菱マテリアルから無料で提供

被削材についてや工具の分類などが 図を用いて、わかりやすく掲載されて いる

授業等のスライドで活用している



English